

**製品名: JAK1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21094**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体                                  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP                           |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット                                       |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG,Kappa  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。               |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質        |
| 精製     | プロテイン A  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:2000-1:10000,IHC 1:100-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量  | Calculated MW:133kD;Observed MW:133kD   |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | JAK1 JAK1A JAK1B                                   |
| 別名           | Tyrosine-protein kinase JAK1;Janus kinase 1;JAK-1; |
| 遺伝子 ID       | 3716.0   |
| SwissProt ID | P23458   |
| 免疫原          | 標的タンパク質に対応する合成ペプチド                                 |

**背景**

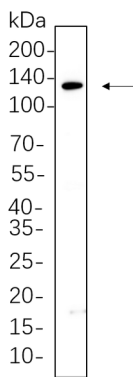
細胞局在: 細胞内膜系; 膜タンパク質。完全に細胞内に局在し、膜結合性を有する可能性もある。この遺伝子は、タンパク質チロシ

ンキナーゼ (PTK) の一種である膜タンパク質をコードしており、PTK ドメインの N 末端側に第二のホスホトランスフェラーゼ関連ドメインを有することを特徴としている。コードされているキナーゼは、STAT タンパク質 (シグナル伝達因子および転写活性化因子) をリン酸化して、インターフェロン  $\alpha/\beta$  およびインターフェロン  $\gamma$  のシグナル伝達において重要な役割を果たす。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2016 年 3 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



T47D 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を JAK1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。